

避難所のバリアフリー化について

(2012年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	避難所のバリアフリー化をすすめてください。
0 愛知県	<p>避難所は市町村が指定するもので、その整備等は市町村が行います。</p> <p>本県では「愛知県緊急市町村地震防災対策事業費補助金」により、市町村が実施する避難所等のバリアフリー化事業等に対して助成を行っております。</p> <p>また、高齢者や障害者、妊産婦を始めとする、災害時の一連の行動に対してハンディを負う災害時要援護者の方が必要となる、車椅子、障害者用簡易トイレ、スロープ、間仕切板などの整備に対しても助成しており、市町村が実施する災害時に援護が必要な方への対策を推進しております。</p>
1 名古屋市	<p>本市の地域防災計画においては、避難所に指定された公共施設にあつては、高齢者、障害者等が不安なく安全に避難生活ができるよう、あらかじめ車椅子トイレの設置や施設内の段差解消等、福祉環境の整備に努めておくものとされています。</p> <p>現在、避難所に指定されている施設には、原則すべての施設において車イスの方も利用できる仮設トイレを備蓄しております。</p> <p>また、スロープの整備がされていない避難所については、各区本部の要請を受けて簡易式スロープなどの物品を調達することにより対応いたします。</p> <p>今後、避難所に指定されている公共施設を所管する局において、機会をとらえて、スロープの設置やトイレの洋式化など所要の整備を行ってまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
2 豊橋市	<p>避難所のバリアフリー化につきましては、出入口などの対策、使いやすい非常用トイレなど今後検討してまいります。</p>
3 岡崎市	<p>施設の改修・建替え時にバリアフリー化を図っている。</p>
4 一宮市	<p>避難所として利用する施設では、住民が利用しやすいよう可能な限りバリアフリー化に努めています。</p>
5 瀬戸市	<p>避難所の考え方として、一時的に避難する場所であると考えており、現在の施設が備えているもの以上のバリアフリー化は考えておりません。また、施設管理者の考え方に従うこととしています。</p>
6 半田市	<p>現在の避難所は、主に収容能力に優れた小中学校の体育館などを指定している状況にあります。新たな施設は、相応な配慮がなされておりますが、すべての施設においてバリアフリー化が図られてはおりません。避難所におきましては、地域支援者などの協力を得るなか、障がい者・児の負担軽減に努めてまいります。</p>
7 春日井市	<p>春日井市では市内39小学校の体育館を指定避難所としています。小学校の体育館は、児童が授業や部活動で運動をする場所であり、膝や足首等の安全を確保するため、弾力性を持たせる必要があり、フローの下地に鋼製床組を使用しています。従いまして、地面より床がある程度高くなっています。</p> <p>入口にスロープ等が設置してある学校も少数ございますが、ほとんどの小学校は組み立て式の簡易のスロープで対応しています。</p>
8 豊川市	<p>旧豊川市の避難所についてはすべてスロープなどのバリアフリー化ができていたところですが、合併を経て、一部の避難所にはスロープ等がないため、今年度から順次整備していく計画としています。</p>
9 津島市	<p>避難所のバリアフリー化はすべてに対応はできておりませんが、福祉施設等と協定を締結しており、障がいのある方等については、専門の設備のある施設へ避難をしていただきます。</p>
10 碧南市	<p>避難所については、計画的にバリアフリー化できるように努めております。</p>
11 刈谷市	<p>福祉避難所にはバリアフリー化の行われている市の福祉施設を4ヶ所と民間の福祉避難所4ヶ所を指定しました。</p>
12 豊田市	<p>※文書回答なし</p>

市町村名		避難所のバリアフリー化をすすめてください。
13	安城市	災害時市が指定する避難所である公民館、福祉センターはバリアフリー化されています。小中学校体育館、保育園遊戯室については、簡易スロープを配置して対応できるようにしています。
14	西尾市	障害者、高齢者などの災害時要援護者の方にも安心して利用していただけるよう、財政的な面も考慮しながら、順次、検討・推進してまいります。
15	蒲郡市	今後検討していきます。
16	犬山市	市が指定している避難所は、既存の公共施設が中心ですが、一部は、民間企業が所有している施設、町内会・自治会等が所有している施設をお借りしているものもあります。 バリアフリー化については、避難者のみならず、通常の使用においても、推進を図るべき課題ですが、現状は、施設の所有・管理者において行われます。 今後、国において、避難所・経路のバリアフリー化を進める地方自治体向けの手引きが改定される予定ですので、その内容を見ながら、市においても検討を進めたいと考えています。
17	常滑市	避難所のほとんどは公共施設を指定しており、バリアフリー化は進んでいます。バリアフリー化されていない避難所につきましては、施設管理者に要望してまいります。
18	江南市	施設の改修にあわせ、今後も進めていきます。
19	小牧市	風水害、地震時の避難所として指定している施設は、建て替えや改修工事を行う際にバリアフリー化するよう努めています。
20	稲沢市	避難所に指定している建物等の管理者との調整等も必要となります。限られた予算の中、主要事業や課題事業の計画との整合性を図りながら検討してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
21	新城市	現在は考えておりません。
22	東海市	避難所には、車椅子用のスロープを配備していますが、今後、施設の改修等に合わせ、更なるバリアフリー化を進めるとともに、プライバシー保護の観点も考慮し、拡充を進めてまいります。
23	大府市	避難所に利用予定の小中学校の体育館等につきましては、学校の大規模改修に併せて検討してまいります。
24	知多市	現在の避難所は、すべて公民館や学校など公共施設にあり、人にやさしいまちづくり事業の趣旨により、できる範囲でスロープ・トイレの洋式化を図っています。
25	知立市	人にやさしいまちづくり条例や、ユニバーサルデザインに沿って、市内公共施設等のバリアフリー化を進めているところですが、新設されるものはその時点で対象となるものの、以前からあるものについては、改築等の場合があればそれに併せて行うこととされているため、学校体育館等の避難施設が、一部バリアフリーとなっていない箇所もあるので、施設管理関係部署と調整を取りながら、バリアフリー化に取り組んでいきます。
26	尾張旭市	本市では、バリアフリーとなっている保健福祉センターを福祉避難所として指定しており、障がい者等の方は、こちらに避難していただくこととなります。
27	高浜市	現在、公共施設のあり方について検討しており、今後公共施設の整備・改修について方向性が出た時点で対応したいと考えています。
28	岩倉市	現在市内39施設を避難所として指定しています。 本市としましては、愛知県条例(バリアフリーの一つの基準となる「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」)に基づき、平成6年以降に建設した避難所については適合した建物となっております。また、適合していない建物について今後、施設の建替えや改修工事をする際に適宜必要な措置をしていただくよう、お願いしていきたくと考えております。
29	豊明市	避難所となる各施設の施設管理者をお願いしていきたくと思います。
30	日進市	学校等については、改修時にバリアフリー化を進めています。また、非常用トイレについても多目的なトイレを配備しています。

市町村名		避難所のバリアフリー化をすすめてください。
31	田原市	指定避難所35箇所(小中学校・市民館等)の内、市が管理する施設については、全てバリアフリー化済み。ただし、今年から新たに追加された避難所施設(高校)については、段差等があるため、バリアフリー化に向け施設管理者(愛知県)と調整します。
32	愛西市	避難所に指定した施設は、通常時は公共施設として利用されており、それぞれの施設管理者がいます。各施設においてバリアフリー化の検討はされていると思いますが、今後は管理者と調整をとりながらバリアフリー化に努めます。
33	清須市	避難所に限らず、近年の公共施設にあつては、ノーマライゼーションの実現に向け鋭意バリアフリー化に努めております。スロープ、手すり、思いやり駐車スペースなどの整備を今後も更に図っていきます。
34	北名古屋市	新設の場合は、バリアフリー化の施設にするように、また、既存施設においても随時、改修を検討するよう施設所管課へ要望します。
35	弥富市	既存の施設を避難所としているため難しい。今後、施設改修などを行うときにはあわせて行いたい。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	避難所のバリアフリーについては、避難所開設時や長期避難生活により、必要になった場合も増設できるように、各避難所の所管課で検討しています。
38	長久手市	避難所である各学校の防災倉庫に、可搬型スロープを備えています。
39	東郷町	避難所である地区のコミュニティセンターにおいては、最近建設された施設はバリアフリー化されていますが、それ以外の施設ではされていない施設もあります。 また、避難所である小中学校の体育館では、段差をなくすスロープ設置などの対応はしています。
40	豊山町	全避難所のうち、一部の保育園園舎及び学校体育館はバリアフリー化がされていません。今後の改修計画等の検討課題とします。
41	大口町	現在の避難所のうち小中学校について、今後施設改修等の際にバリアフリー化を検討していきたいと考えております。
42	扶桑町	学校・学習等供用施設等それぞれの大規模改修時に併せて進めています。
43	大治町	避難所のバリアフリー化については、段差解消のための簡易スロープの設置や、手すりが未設置の場合には車椅子で対応する。 また、車椅子の方も使用可能な組立て式簡易トイレを配備していく。
44	蟹江町	平成24年度から避難所用のスロープを購入し対応していきます。
45	飛島村	新規避難所建設に合わせてバリアフリー化を検討していく。
46	阿久比町	避難所の開設箇所は、22か所あり現在バリアフリーがされている個所は15か所あります。今後施設を所有する関係課と相談しバリアフリー化に努めてまいります。
47	東浦町	現在の福祉避難所については、バリアフリー化されております。
48	南知多町	現在のところ予定はありません。財政面での問題、平常時の使い勝手等を考慮の上、今後検討していきます。
49	美浜町	現時点においては、各施設に対する避難所としてのバリアフリー化は予定していませんが、財政面での問題、平常時の使い勝手等を考慮のうえ、今後検討することとなるものと考えます。
50	武豊町	ほとんどの避難所出入口のバリアフリー化は行っています。施設で段差がある場所については、役場で備蓄している車いす用の段差スロープを利用していきたいと思ます。
51	幸田町	施設管理者と協議し、避難所のバリアフリー化に努めます。
52	設楽町	関係機関との協定を検討しています。
53	東栄町	防災担当と協議して今後対応したい。
54	豊根村	1箇所はバリアフリーですが、他の避難所については考えていません。